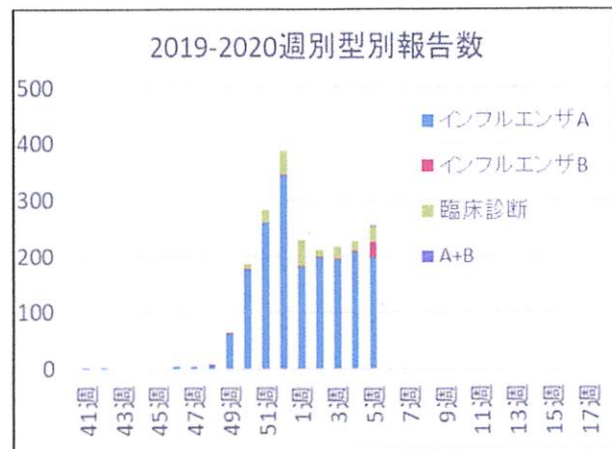


# 今シーズンのインフルエンザの状況

2020年2月4日

	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	合計
インフルエンザA	1	2	0	0	0	4	4	6	62	175	260	344	179	198	194	207	198	1834
インフルエンザB	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	1	3	1	2	3	27	44
臨床診断	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	22	42	47	12	21	18	27	199
A+B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
総診断数	1	2	0	0	0	4	4	8	65	186	283	387	229	211	217	228	253	2078

2月2日までの報告のまとめです。19の医療機関より2078例の報告がありました。  
 インフルエンザA(AH1pdm09)、いわゆる新型の流行が続いています。5週になり報告数が増えています。  
 インフルエンザBの報告が44例と増加しています。第5週より西中でクラス内流行があり地域への拡大が心配です。  
 インフルエンザBには山形系統とビクトリア系統の2種類あります。今シーズンはビクトリア系統の流行のようです。  
 2015-2016と2017-2018にB型(山形系統)の大きな流行がありました。久しぶりのビクトリア系統の流行です。  
 日本ではAH1pdm09の流行ですが、アメリカではB形(ビクトリア系統)の大流行で小児の患者が増えています。  
 1月31日までの教育委員会からの報告は757人で、全体として少ないです。B型の流行が地域に拡大していくと  
 大きな流行が予想されます。インフルエンザBは、抗インフルエンザ剤の効果が不十分で症状が長引く傾向があります。  
 現在流行のインフルエンザAは、抗インフルエンザ剤の効果が、数日で解熱しています。



中学校	1887	93	4.9%
小学校	4,016	524	13.0%
幼稚園	747	96	12.9%
こども園	392	44	11.2%
合計	7,042	757	10.7%

現在、新型コロナウイルス関連の報道でマスクが手に入りにくくなっています。マスク着用の予防効果は証明されていません。いたずらに不安になる必要はありません。①体調不良時は無理せず休む。②手洗い・咳エチケット等インフルエンザ予防対策と同様なことをしっかり実行しましょう。

